

CSRマネジメント

日野のCSR

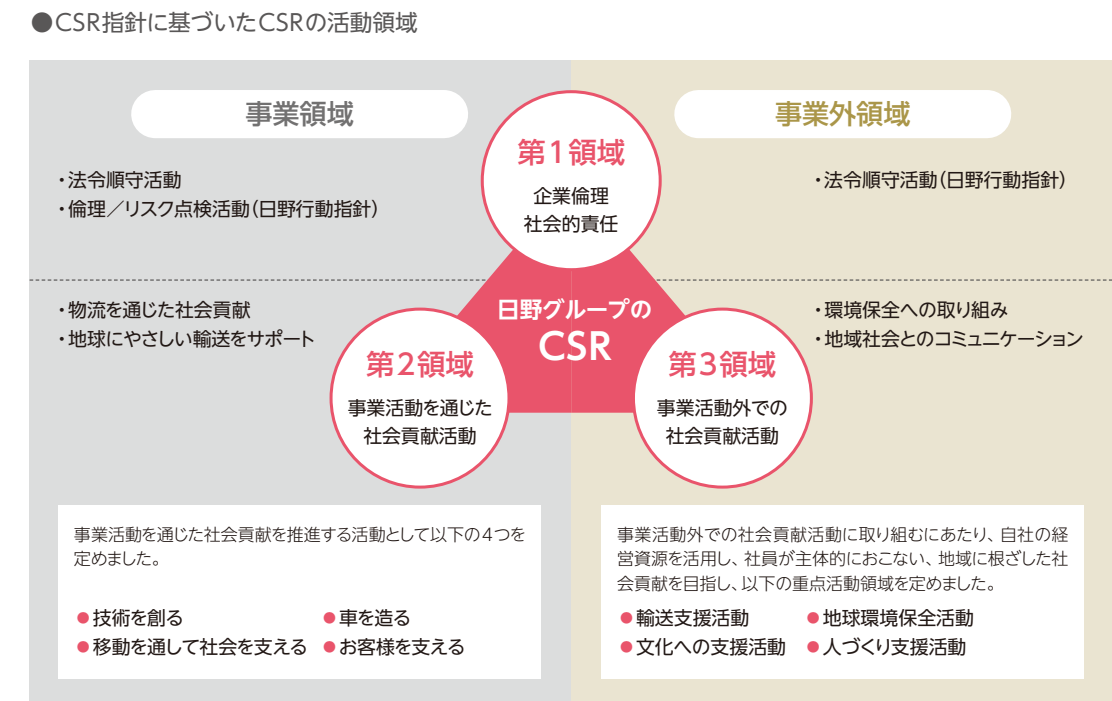
HINO 基本理念とCSRについての基本的考え方

日野自動車は、1992年以来掲げてきた「企業理念」を2007年7月にCSRの観点から見直しをおこない、策定された「HINO 基本理念」において、「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」を会社の使命として掲げています。この理念は、日野自動車が社会に対し果たすべき任務や責任を示した「会社の使命」、取り組み方針を示した「基本方針」、そして私たちのCSRについての思いを表した「CSRメッセージ」の3要素で構成されています。私たちはこの基本理念に則り、CSR指針の社内への浸透とCSR活動を推進しています。

「HINO 基本理念」はこちら

CSR活動領域とCSR指針

「HINO 基本理念」の実現に向け、2008年11月には「CSR指針」を策定し、CSRの活動領域を、リスク管理、法令順守を基本とする「企業倫理、社会的責任」の第1領域、「事業活動を通じた社会貢献活動」の第2領域、「事業活動外での社会貢献活動」の第3領域と定めています。



CSR推進体制

日野自動車では、CSR活動を会社経営の一部と位置づけ、活動における行動計画や改善施策、課題の共有・推進については適宜、代表取締役社長を議長とする経営会議もしくは業務執行役員会で意思決定・報告をおこなっています。

また、前年度の活動を毎年振り返って課題を確認し、新年度の経営計画に沿った取り組みを設定するとともに、「HINO 基本理念」やCSR指針の社内浸透度の向上、指針に沿った活動の推進に努めています。

社員のCSRへの意識を高めるため、社内報などに社会貢献活動をはじめとしたCSR活動の実践事例を掲載し、周知を図っています。

日野グループとしてCSR活動をさらに推進するため、グループ各社とのネットワークを強化しています。活動の活性化とグループ全体のCSR活動レベルアップを目標に、日野自動車および、関係会社のトップ向けCSR講演会や担当者向け勉強会を開催しています。

日野自動車の主要なステークホルダー

日野自動車では、CSR活動を「社会からの期待に応え、社会とともに持続的発展を目指す活動」と考えています。ステークホルダーへの責任を着実に果たすことを目指して日々活動をおこなっています。



TOPIC

社外の皆さまとのコミュニケーション

日野自動車は、社外の皆さまに当社への理解を深めていただくために、企業情報の適時・適正開示と、それらに基づくコミュニケーションが重要であると考えています。2018年は、定時株主総会や決算発表などの定例開催に加え、株主様を対象に6月に「技術説明会」を、そしてマスコミの皆さまを対象に5月に「安全・自動運転技術説明会」、7月に「環境技術説明会」を開催するなど、当社のことをより広く知っていただくための取り組みを強化してきました。今後もこのような場を通じ、社外の皆さまからいただいたご意見等を企業活動に取り入れることで、企業価値のさらなる向上につとめていきます。



環境技術説明会の様子

SDGsへの貢献

基本的な考え方

「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、2015年9月に国連持続可能な開発サミットにて採択された「アジェンダ2030」に盛り込まれた2030年までに人類が達成すべき17の目標 (GOALS) と169のターゲットです。SDGsは全世界共通の目標として『誰一人取り残さない』世界を実現しようとする壮大なチャレンジであり、国はもちろん企業にも積極的な関与が求められています。

日野自動車では、以下の事業活動にかかわりの深い項目に重点を置き、社会課題の解決に取り組むなかでSDGsに貢献していきます。



日野自動車の事業とSDGsとのかかわり

日野自動車はグローバル社会と協調し、事業活動を通じて持続可能な社会に貢献する取り組みを進めています。「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」を会社の使命として掲げ、ステークホルダーの皆さまからのニーズや期待に応えながら、持続可能な社会の実現を通じ、持続的成長を目指す日野自動車のCSR活動は、SDGsが目指す方向性と一致しています。

17の目標のなかでも、「人づくり・働き方への取り組み (目標8)」「製品安全技術の追求 (目標11)」など、日野グループとしてグローバルな社会課題の解決に主体的に貢献していきます。

また、地球環境問題は日野自動車に取り組むべき重要なグローバル課題のひとつです。環境負荷を低減し、豊かで住みよい世界と未来を次の世代につなぐべく「日野環境チャレンジ2050」を掲げ、取り組みを推進しています。

●SDGsに貢献する取り組み(例)

関連するSDGs目標	日野自動車の活動	ページ数
 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する(目標8)	人づくり・働き方への取り組み	P.80-90
 包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する(目標11)	製品安全技術の追求	P.66-71
 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる(目標13)	「日野環境チャレンジ2050」に沿った取り組み	P.36-64